

2. 学部授業科目

授業科目名 (英文表記)	暮らしと法律～よりよく生きる法律入門～ (Life & Law)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	吉田 雅章		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	① 10月1日(土) 9:30～14:30	④ 10月22日(土) 9:30～14:30	
	② 10月8日(土) 9:30～14:30	⑤ 10月29日(土) 9:30～14:30	
	③ 10月15日(土) 9:30～14:30	⑥ 11月5日(土) 9:30～14:30	
【授業のねらい・概要】			
<p>わたしたちが日々の暮らしを送るに当たり、好むと好まざるとにかかわらず、法律と関わりを持たないことはないと思われま。そのため、社会生活を営むために法律の知識は不可欠であると考えられます。それにもかかわらず、法律は自分とは関係のない存在であるかのように考えられがちであり、さらに、暗くて近寄りたいたいというような悪いイメージさえ持たれているといっても過言ではありません。その原因として、法律用語の難解さ、法学は無味乾燥であるというイメージ、法律解釈の理屈っぽさなどが考えられますが、この授業では、身近に存在する日々の暮らしの一場面を具体的な例として取り上げて、できるだけわかりやすく説明し、法律がどのように役に立っているか、そして、日常茶飯事でさえ法律抜きでは考えられないということなどを理解してもらうことをねらいとしています。なお、できるだけ多くの法律を解説する予定ではありますが、最もわたしたちの暮らしと密接な関係にあり、それゆえ特に重点を置くのは民法です。その手段として、多くの映画やTV番組等を視聴してもらい、法学の敷居の高さを少しでも低くする工夫をするつもりです。</p>			
【授業計画】 ※あくまでも事前の計画でありまして、受講生の皆さんのご希望に添うように変更するつもりです。			
<p>受講生の皆さんと相談の上、通常の90分授業では不可能なドラマや映画の視聴を組み込みたいと思っています。</p>			
第1回 ガイダンス			
<p>受講生の皆さんと十分に話し合いをして授業計画を再検討し、順番の変更・講義内容の一新化も可能です。</p> <p>6回の講義で取り上げることができるTVドラマや映画などを紹介します。初回のため、事前に受講生の皆さんの希望を聞けませんので、痴漢えん罪事件を取り上げた映画「それでもボクはやってない」を視聴してもらいます。</p>			
第2回 高齢化社会と成年後見制度に関する問題			
<p>人生100年という時代が到来し、認知症の方が失踪して行方不明になることがあります。また、介護をする周囲の方々のご苦労や、お金持ちの認知症の方を狙う後妻業も存在します。さまざまな問題が出てきた高齢化社会を乗り切るべく登場した成年後見制度にも問題があります。</p>			
第3回 消費生活に関する問題			
<p>日常の消費者取引に関するトラブルを取り上げたTV番組は非常に多いので、受講生の皆さんと相談の上、教材として取り上げるドラマ・映画等を決定したいと思います。第4回から第6回でも同様に致します。</p>			
第4回 医療事故や公害に関する問題(民法709条・不法行為に関連する内容です。)			
第5回 離婚に関する問題(子の親権・養育費・財産分与・慰謝料などを考えてもらいます)			
第6回 相続(とりわけ遺産分割協議、自筆証書遺言&公正証書遺言、そして遺留分)に関する問題			
【到達目標】			
<p>トラブルに巻き込まれずに日常生活を送るための法律知識を獲得してもらい、その重要性を理解すること。</p>			
【教科書】			
<p>特に指定はしません。</p>			
【参考書】			
<p>講義時に適宜、紹介します。</p>			
【成績評価方法】			
<p>学部生のみ、出席しての質疑応答、授業態度やレポートなど総合的に評価します。</p>			
【授業時間外学修についての指示】 (学部生は必須ですが、学部開放授業受講者は任意です。)			
<p>ネット・テレビ・新聞等で紹介される色々な法的問題について関心を持って目を通して下さい。</p>			
【履修上の注意・メッセージ】			
<p>基礎知識がなくても理解できるように授業を構成します。ただ、もしも可能であれば、各自でわかりやすい法学入門書などを読んで前理解を深めるようにしておいて下さい。</p>			
<p>※基本的に授業は対面での実施を予定しますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。</p>			